

授業計画（シラバス）

教育内容	専門分野 老年看護学			
科目名	老年看護学方法論Ⅰ（運動器、脳・神経）	対象学年	2年生	
単位（時間数）	2単位（40時間）	講義時間	36時間	試験時間 4時間
講師名	外来講師	実務経験	臨床看護師／理学療法士	
学習目標	1) 老年期に特徴的な運動障害をもつ対象への看護について理解する 2) 対象が ADL を維持し、その人らしい生活を継続できるように支持する看護を理解する 3) 老化と疾患、傷害の程度を生活機能の観点からアセスメントし、老年看護の具体的方法を理解できる 4) 人間を統合する脳の働きに障害をもち、持続的なケアが必要な人の看護を理解できる 5) 神経系の障害が生活に及ぼす影響がわかり、障害を持ちながらその人らしく生活できるよう働きかける看護の役割について理解できる			

回数	単元・授業内容	授業形態	担当	使用教材
1	老年期の骨・筋・関節の特徴 運動器疾患を持つ対象の理解	講義	外来講師	系統看護学講座「運動器」（医学書院）
2	運動機能の評価と訓練 関節可動域、徒手筋力テスト、ベッドサイド訓練 ADL 評価、自助具の使用	講義	〃	
3	関節リウマチの病態と看護 腰椎椎間板ヘルニアの病態と看護	講義 演習	〃	
4、5	大腿骨頸部骨折の病態と看護 保存療法を受ける患者の看護 牽引療法、ギプス固定	講義 演習	〃	
6	廃用症候群の症状、フレイル、随伴する諸問題 廃用症候群の予防、転倒転落と予防策 尿失禁、嚥下障害	講義 演習	〃	
7、8	ベッド上できるリハビリの実際	講義 演習	外来講師	系統看護学講座「リハビリテーション看護」

授業計画（シラバス）

				(医学書 院)
9	老年期の患者の特徴（認知・知覚機能） 症状・障害をもつ患者の看護 （意識障害、言語障害、運動麻痺）	講義	外来講師	系統看護学 講座「脳・ 神経」（医 学書院）
10	症状・障害をもつ患者の看護 （嚥下障害、排尿障害、てんかんとけいれん）	講義	〃	
11	認知症症状 認知障害をきたす疾患	講義	〃	
12	治療・処置を受ける患者の看護 開頭手術、薬物療法、化学療法、放射線療法	講義	〃	
13	脳卒中の看護 （くも膜下出血、脳梗塞、脳出血）	講義	〃	
14	筋ジストロフィー、ALS、脳腫瘍の看護	講義	〃	
15	頭部外傷患者の看護、髄膜炎患者の看護	講義	〃	
16～18	試験対策	模試など		
教科書	系統看護学講座「運動器」「リハビリテーション看護」「脳・神経」（医学書院）			
参考図書				
評価方法	各単元（外来講師2名の範囲）毎、終講試験にて60点以上で合格 *平均60点以上で単位取得			